



## 三学期が始まりました ～今年もよろしくお祈りします～

例年に比べ、穏やかな気候の年明けとなりました。一方で能登半島での地震、羽田空港での事故と辛いニュースも飛び込んできました。被害に遭われた方には、心からお見舞い申し上げます。

1月9日の始業式には、子どもたち全員が元気に登校し、三学期のスタートを切ることができました。きっと充実した冬休みが過ごせたからでしょう。ありがとうございます。三学期は52日しかありません。特に6年生は卒業まで51日です。4月の進級、進学を見据えた、1年間の総仕上げの学期です。



ところで、今年<sup>きのえたつ</sup>は辰年です。辰年の中でも甲辰の年で、「新しいことを始めて成功する」とか、「今まで準備してきたことが形になる」といった縁起の良い年だそうです。ちょうど昨年末に、プロ野球の大谷翔平選手からのグローブが届き、3学期始業式で子どもたちに披露しました。先日の校長だよりでも紹介しましたが、大谷選手は小学生の頃から「プロ野球選手になる」という夢を持ち、それを実現させるために目標を立てて一つ一つ実行していったそうです。子どもたち一人一人が目標を持ち、それを一つ一つ達成しながら、やがて自分の「夢」を実現できるよう、教職員一同取り組んで参ります。



大谷翔平選手から学校にいただいたグローブ。昼休みなどに使っています。



朝の運動(全校)



郷土料理教室(5年生)



鬼ぐい作り(6年生)

## 「まだ」と「もう」

あと1週間もすれば2月です。あっという間の1月でした。よく「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」と言われますが、正にその通りですね。

この時期は「まだ」と「もう」と両方の考え方が必要だと思います。一つは「まだ2月」なのだから、今までにできていないことをもう一回がんばってみよう。できるようにチャレンジしようという考え方です。もう一つは「もう2月」なのだから、1日1日を大切に、今までがんばってきたことを積み重ねていこう。最後まで粘り強く取り組もうという考え方です。この二つの考え方は、どちらもプラスの考え方です。学年末など締めくくりや節目となる時期には特に大切だと思います。「もう間に合わない」「まだまだ余裕」というマイナス思考で考えるのではなく、最後まで励まし合ってがんばることが、充実した学年末や進級、進学につながると思います。

